

コウノトリ



毎週月曜日更新

# カタカタ通信

第216号

## 「巣作り以外も始まりました」

2026年2月16日

前回紹介した新しい巣材の「木綿（もくめん）」を追加してみた結果です。初めて見る素材でしたが、空と花は巣材として使ってくれました。



木綿をもってきた空



木綿を置いてすぐの巣

ふわっとした新しい木綿の塊が新たに巣に入ると、「あ、運んでいるな」とぱっと見てわかるほど目立ちます。日々、運んだり、落としたり、乗せたり……を繰り返すうちに、従来の巣材とも混ざり合い、だんだんと巣の一部として馴染んできました。

その日によって運ぶ材料も違います。枝を多く運んだり、チガヤだったり、木綿だったり。ある程度巣材が集まってからは、運ぶ時間よりも、巣の上で巣材を組む時間が増えてきました。また、オスが運びメスが組む、と役割分担をしているかのようなこともあります。なんと雪の日にも、思った以上に巣材を運んでいました。見ているこちらが、雪がとけてからにすればよいのに…とってしまうほどでした。



2羽寄り添って寝ています



足をちょいちょいする空

最近の夜の2羽は寄り添いながら過ごしています。ときどき巣を直したり、少し座ったり。そして、オスが胸でメスを押したり、背中に足をかけて乗ろうとする行動も増えてきました。空は足だけでなく、羽ばたいて勢いをつけたりもしながら、上に乗れるよう少しずつ頑張っています。一方の花ですが、まだその気がないのか、“壁の花”になっています……。

巣作りはレベルが上がったのか、かけている時間のわりにはきれいに進んでいるように見えます。次の段階へのレベルアップを信じて。

次回に続きます。



巣の上の花と

巣の下で巣材を集める空

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター  
飼育担当：しみじい